

1 見えないだけ

名前

組 番

得点

/100

次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。
見えないだけ

牟礼慶子

1 空の上には

もつと青い空が浮かんでいる

3 波の底には

もつと大きな海が眠っている

5 胸の奥で

6 ことばがはぐくんでいる優しい世界

7 次の垣根で

8 蕾をさし出している美しい季節

9 少し遠くで

10 待ちかねている新しい友だち

11 あんなに確かに在るものが

12 まだここからは見えないだけ

詩の数字は行の番号を示す。

教科書 P.16～17 「見えないだけ」 牟礼慶子

2 ①「空の上には／もつと青い空が浮かんでいる」とは、どんなことを表しているか。次の文の空欄にあてはまる言葉を五字で考えて書きなさい。

・私たちの世界は、今

のだけがすべてではないということ。

3 詩の5～10行目について述べた次の文の()にあてはまる言葉をAは二字で考えて書き、Bは詩の中から七字で抜き出さなさい。

・「優しい世界」「美しい季節」「新しい友だち」は、輝かしい(A)を象徴したものであり、その(A)は、確実にはぐくまれ、蕾となって花開くときを(B)のだということを表している。

A

B

4 ②「待ちかねている新しい友だち」について、この部分で使われている表現技法を次から選びなさい。

- ア 比喩
- イ 倒置
- ウ 反復
- エ 体言止め

5 ③「まだここからは見えないだけ」について、1「」「」「とは何を指しているか。考えて書きなさい。

2 「見えないだけ」で「確かに在るもの」を、詩の中から七字以内ですべて抜き出さなさい。

読む

1 次の部分と対句になってるのはどの部分か。空欄にあてはまる行数を数字で書きなさい。

() 点 x () 読む /90

A 1・2行目

行目。

B 5・6行目

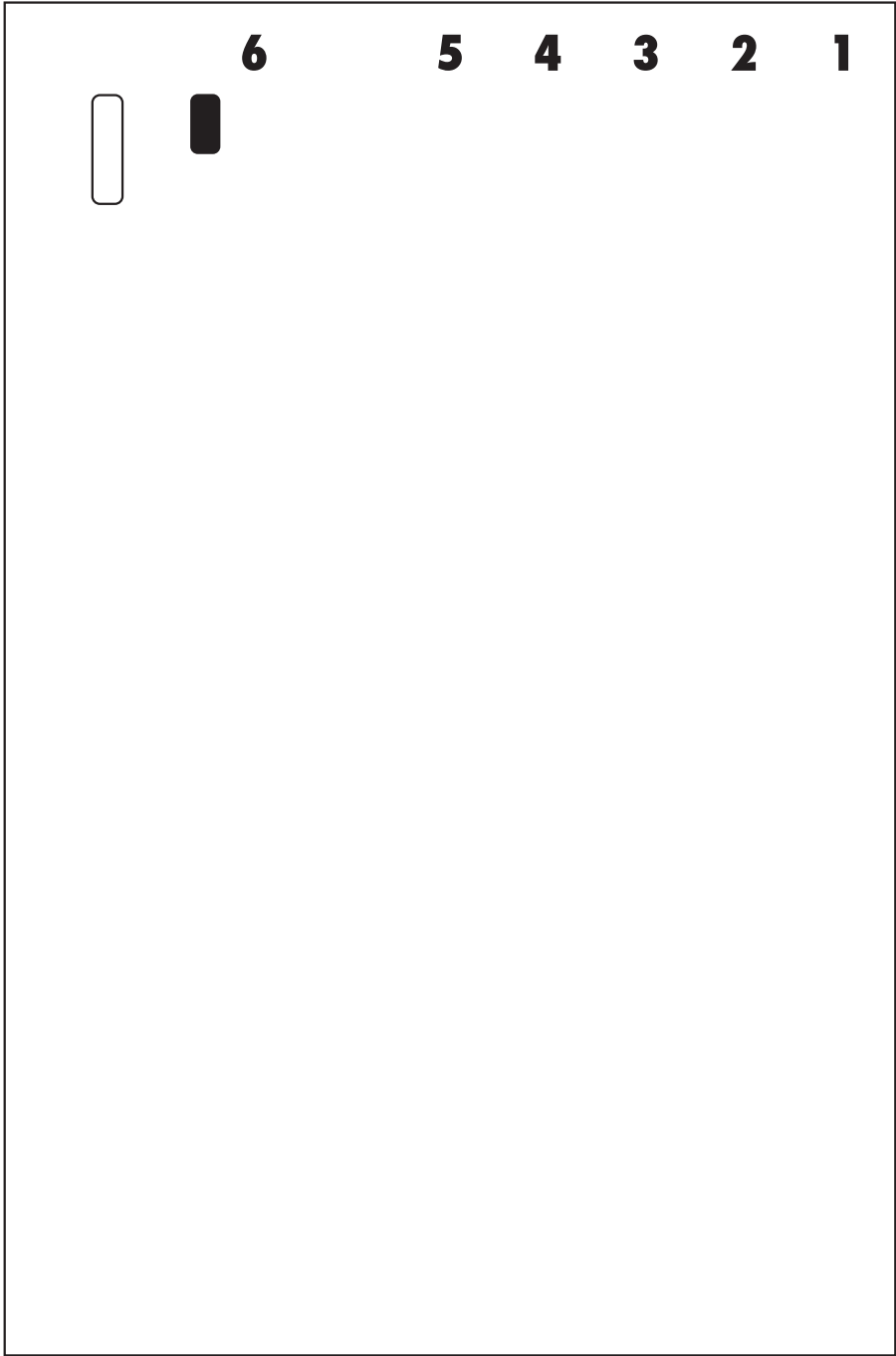
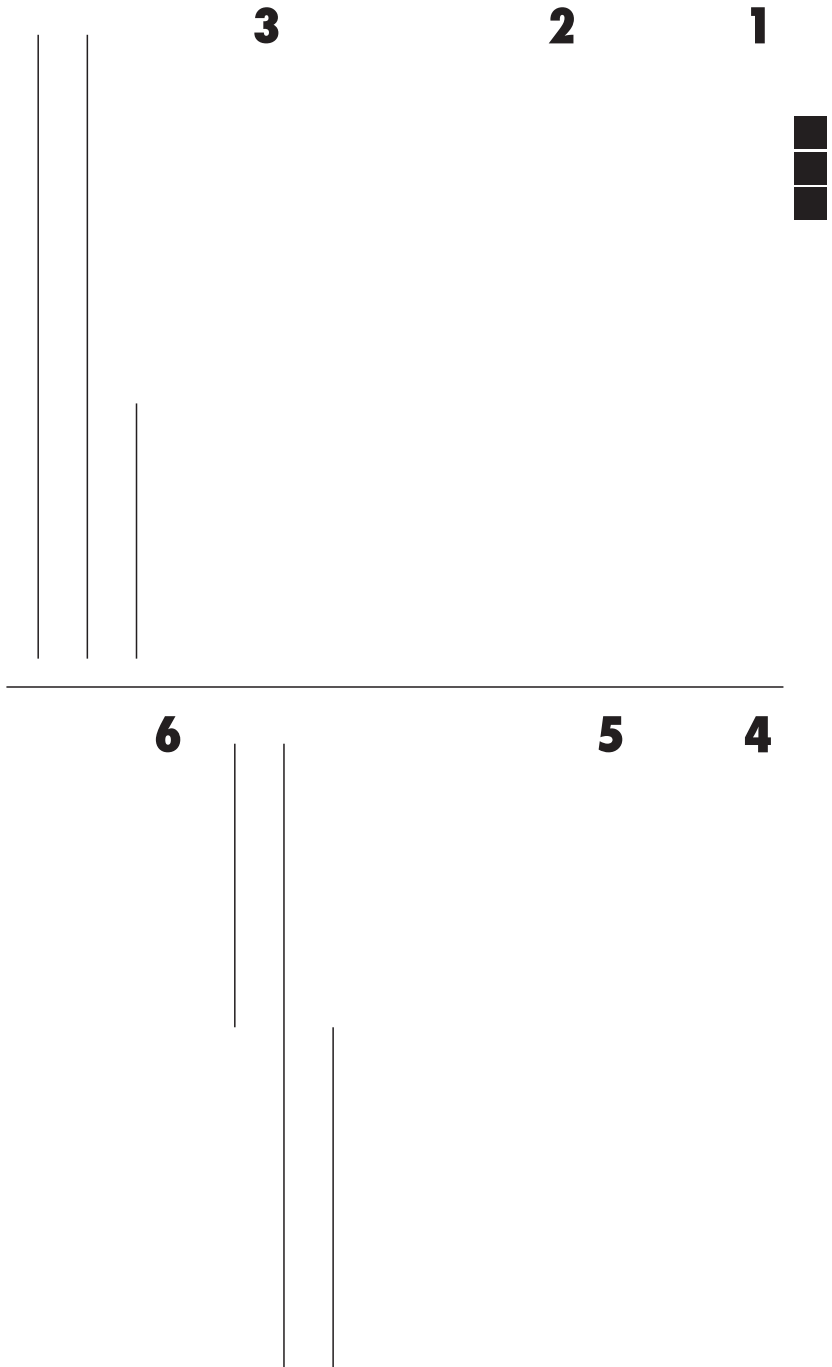
行目と

行目。

書く

6 作者はこの詩を通してどんなことを伝えようとしているか。三十文字以内で書きなさい。

() 点 書く /10



解答

1



学習日 月 日

名前

組

書<

番

得点